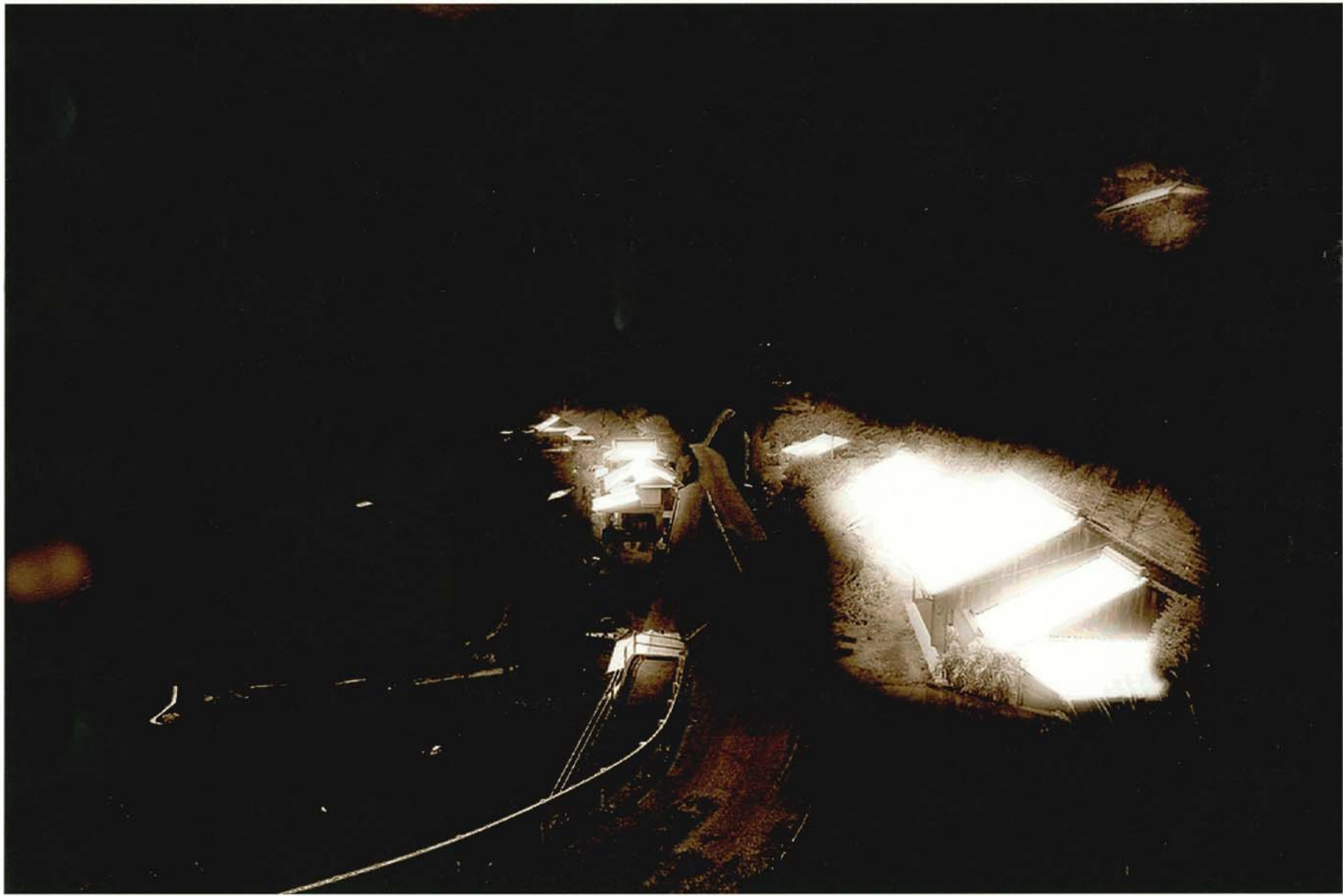
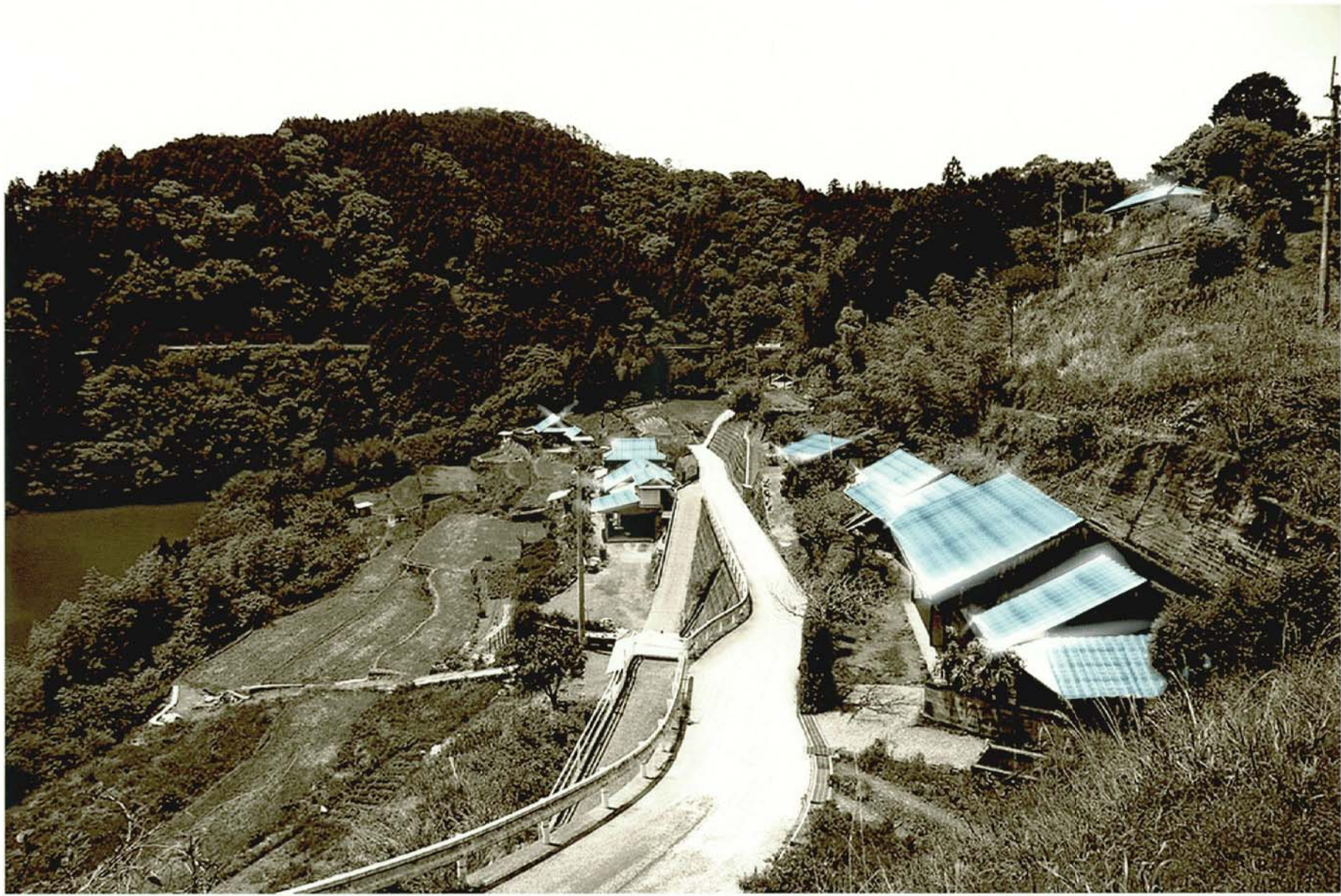


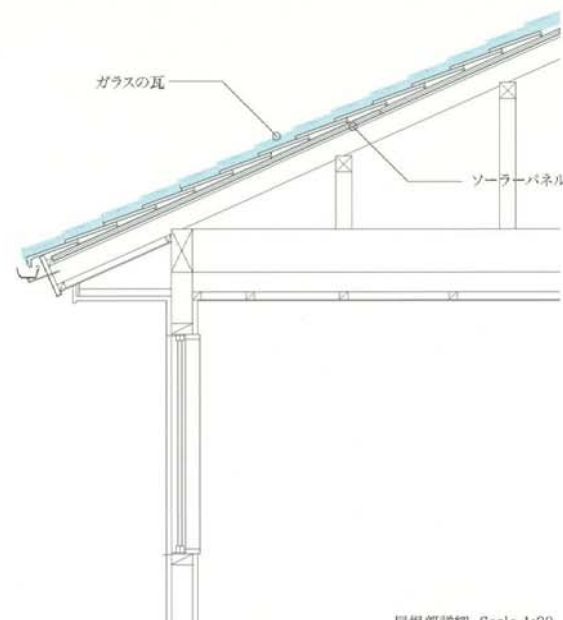
Glass roofing tile



ソーラーパネルの出現により、住宅のたたずまいは大きく変化した。特に農村において、唐突に屋根の上に置かれたパネルは静かな田園風景のなかに科学技術の産物として大きくその存在を露にしている。このプロジェクトは太陽光発電と農村の風景を再考し、以下の四つの事項の提案をおこなうものである。



1. ソーラーパネルの上にガラスの瓦を敷き詰め、屋根は農村部の風景をやさしく反射する仕上げとする。
2. 蓄光ガラスによって、夜間放出される光は農村の灯火として、やさしく人々の生活を照らす。
3. 夜間放出される光によって、一日を通して断続的に光をエネルギーに変換し、電力供給をおこなう。
4. 使い古されたガラスの瓦はガラス製品へと再利用される。



屋根部詳細 Scale 1:30